

ほかほかタイムズ

第4回目の「ほかほかタイム」は、読み聞かせボランティアの山崎久子様をお招きして、お話を伺いました。



今日はまず始めに、「梨とり兄弟」という昔話をしたいと思います。《「梨とり兄弟」の素語り》今の昔話を聞いて、皆さんはどう感じましたか？感じる心や想像することは、一人一人違いますね。私は、みんな違ってみんないいと思います。

さて、今日は、だれもがもっている感じる心について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。実は、平成26年から28年の3年間、日光市の全小学校の4年生から6年生までに、「家族のきずな」というテーマで、作文を書いてもらいました。今三小の皆さんからも、たくさん書いて出してもらいました。その作文の中から、6年生のある

作文を紹介したいと思います。皆さん感じる心のスイッチをオンにしてください。

「あたりまえ、でもそれはとても大切なこと」

皆さんは家族に感謝していると思ったことがありますか？私は何度も思ったことがあります。「別に感謝なんて言う気持ちはないし…」ということを行っている人を見て、私はがっかりしました。なぜなら、私をここまで成長させてくれたのは親だと思うからです。小学校に行かせてくれたのはだれ？ご飯を作ってくれたのは？正しいことを小さいころからずっと教えてくれたのは？私はこの答えは、親や家族だと思います。このことを当たり前だと思っている人が、世の中にたくさんいます。でも、親がいてくれることは、これからの私たちが成長していく上でとても大切なことではないかと私は考えています。そして、このことを私たちは、もっと皆さんに理解してもらうことが重要なのではないのでしょうか。

この作文を聞いて、皆さんはどう思いましたか？自分と比較して、どう感じましたか？その考える心、感じる心が大切なのですよ。

ところで皆さんは、朝起きてから夜寝るまで、何人ぐらいの人と会っていると思いますか？では、今朝起きてから、学校に来るまで、何人の人と挨拶したり、会話をしたりしたか思い出してください。（10人以上という児童が多数）学校に来るまでだから、夜寝るまでにはもっとたくさんの人と会うことになりますね。皆さんは、普段あまり意識することがないかもしれませんが、家族をはじめ、いつも身近にいて自分を支えてくれる人がいることを感じてほしいと思います。

最後になりますが、感じる心は見えないですよ。見えないから難しいと思いますが、皆さんは毎日知らず知らずのうちに、感じる心を育てているのです。例えば、人の話を聞いたり、いろいろな体験をしたり、本から学んだり、友達と遊んだり、たくさんあります。探してみてください。そして感じる心の種を、たくさん増やしていきましょう。今日は、一緒に感じる心について考えてくれて、ありがとうございました。

山崎様は、日頃の学校での子どもたちの挨拶をほめてくださっていました。いつも読み聞かせをしてくださっている山崎様ですが、今回の素語りを、子どもたちは、吸い込まれるように聞き入っていました。

次回ほかほかタイム

11月8日（水）1:15～

講師：日光市職員

N.M様

体育館玄関からお入りください。

スリッパを御持参下さい。

保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

氏名（ ） 児童名（ ） 年 組（ ）

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思いますので、御了承ください。